

岸田総理は、ASEAN関連首脳会議及びG20ニューデリー・サミットにおいて
ALPS処理水の海洋放出について、各国に日本の対応を説明しました



- ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出については、今回の一連の会合や二国間会談の場において、ASEAN及びG20諸国等に対し、日本の対応を改めてしっかりと説明いたしました。
- これまでも多くの国から、処理水放出のプロセスが安全で透明性の高いものである、との評価をいただいているところですが、こうした理解が一層広まったものと感じております。
- 中国の李強國務院総理には、私からALPS処理水についての我が国の立場を、改めて明確に述べました。
- 日本としては、引き続きIAEA（国際原子力機関）とも緊密に連携し、科学的根拠に基づき、高い透明性を持って、国際社会に丁寧に説明を行い、理解を深めていきます。

（令和5年9月10日 ASEAN関連首脳会議及びG20ニューデリー・サミット出席等についての内外記者会見より）

【参考】各国首脳会談概要から、ALPS処理水関連部分を抜粋



【日・インドネシア首脳会談（令和5年9月7日）】

岸田総理大臣から、ALPS処理水の海洋放出に関する日本の立場について説明し、ジョコ大統領から理解が示されました。



【日・トルコ首脳会談（令和5年9月8日）】

今般開始したALPS処理水の海洋放出に関し、IAEAの包括報告書における評価にも言及しつつ日本の立場を説明し、エルドアン大統領は、IAEAによるモニタリングや報告書を注視しており、日本政府の誠実な取組を承知している旨述べました。



【日・オランダ首脳会談（令和5年9月9日）】

岸田総理大臣から、福島第一原発からのALPS処理水の海洋放出は、IAEAの包括報告書においても、人及び環境に与える放射線の影響は無視できる程度とされており、引き続き、科学的根拠に基づき、高い透明性をもって、国際社会に丁寧に説明していく旨述べたところ、ルッテ首相は、日本政府の取組を完全に支持する旨述べました。



【日・印首脳会談（令和5年9月9日）】

岸田総理から、今般開始したALPS処理水の海洋放出に関する日本の立場を説明しました。



【日・豪首脳会談（令和5年9月9日）】

福島第一原発への対応につき、冒頭、アルバニー首相から、日本が国際原子力機関（IAEA）と連携して責任ある形で取り組んできていること及び日本がとった措置を称賛する旨の発言がありました。